

# JA 広島総合病院消化器内科 後期研修プログラム

2010年4月1日

## I. JA 広島総合病院消化器内科後期研修プログラムの特徴

JA 広島総合病院は広島市の西隣廿日市市に位置し広島県西部地域の医療の中心的役割を果たしています。従来より地域に根ざした医療をめざし救急医療についても力を入れておりましたが、平成 23 年度には救命救急センターが新たに発展設置される予定です。臨床研修病院としても優秀な初期・後期の研修医も数多く輩出しています。

当院消化器内科では、消化管・肝・胆・膵の消化器領域において、良・悪性腫瘍、炎症性疾患のほぼ全ての疾患の診療を担当しており、しかもそのレベルは最先端と言えます。特に消化器内視鏡機器や腹部超音波機器を用いた診断・治療に重点をおいて診療を行なっています。消化器内科診療に必須のこれらの機器は平成 21 年 6 月にすべて一新され最新の設備となりました。現在これら最新機器を使って最先端の高度な診療が行われています。当科の研修指導体制は肝・胆道・膵・上部下部消化管のすべての消化器分野での専門医を配置し充実した指導を行える体制となっています。地域がん診療連携拠点病院としての使命を果たすべく、緩和ケアを含めて消化器癌患者の診断治療も重視しています。

当科では後期研修医はスタッフ医師としての採用であり、他の消化器内科スタッフ医師と同等の業務を果たすことが求められます。むろん、後期研修医に対しては上級指導医が細かい指導を行うことは言うまでもありません。入院患者の主治医として上級指導医とともに診療に従事し、また、外来診療も担当していただきます。腹部超音波検査や上部消化管内視鏡検査については日常診療の一環として上級指導医とともに担当していただきます。内科系当直医師として夜間、時間外、休日の救急患者対応も行います。下部消化管内視鏡検査や ERCP 等さらに高度な検査処置につきましても、上級指導医の指導のもとに実際に検査の主体となって実施していただき、消化器内科医として十分な検査手技・診断技能の習得をめざします。

当科のプログラムを研修した場合、消化器内科医として高度のレベルの臨床能力を習得できます。熱意を持った方の応募を期待します。

## II. 目標

1. 一般目標：消化器内科専門医として活動できる知識と技術を体得する。
2. 行動目標：消化器疾患の病態を的確に判断し自力で取り扱う能力を習得する。また最新医療を日常臨床に活用する心掛けをもち患者本位の医療の実現を達成する。さらに経験した症例について各種研究会、学会等で発表を行い、論文としても業績を残す。
3. 具体的目標
  - (ア) 後期研修 1 年次（卒後 3 年目）
    - ① 関係各科医師・コメディカルと協同した診療ができる
    - ② 中心静脈カテーテルの挿入など内科基本手技ができる
    - ③ 入院患者の主治医として診断治療方針を決定し、患者や家族に説明できる
    - ④ 消化器内科外来を担当し、外来診療を行う
    - ⑤ 腹部救急疾患を経験し、上級医と相談しながら対応できる
    - ⑥ 重症急性膵炎等全身管理の必要な疾患を ICU 医師や他科専門医と協調して診療できる
    - ⑦ 腹部超音波検査、上部消化管内視鏡検査が独力で施行できる
    - ⑧ 超音波下や内視鏡下の検査・治療手技の介助ができる
    - ⑨ 下部消化管内視鏡検査が独力で行え、ポリペクトミーを経験できる
    - ⑩ ERCP、ENBD が独力で行え、さらに関連治療手技を経験できる
    - ⑪ 研究会、学会発表を行う
  - (イ) 後期研修 2 年次（卒後 4 年目）
    - ① 担当した入院患者の診断、治療を自ら施行する
    - ② 消化器救急疾患の管理が独力で行える
    - ③ 肝生検、PTCD、PTGBD、RFA 等の術者が担当できる
    - ④ 上級医の指導のもと、緊急内視鏡を施行する
    - ⑤ 消化器癌の化学療法が行える
    - ⑥ 初期研修医に適切な指導ができる
    - ⑦ 研究会、学会発表を行う
    - ⑧ 臨床論文を作成する
  - (ウ) 後期研修 3 年次（卒後 5 年目）
    - ① 上部および下部消化管の各種内視鏡下手術（ESD など）が担当できる
    - ② 上部および下部消化管の緊急内視鏡検査および緊急処置が行える
    - ③ EST および結石除去が行える
    - ④ 経乳頭あるいは経皮経肝的な胆道インターベンションが行える
    - ⑤ 臨床論文を複数作成する

## III. 指導体制

- 石田邦夫（副院長、昭和 47 年卒、広島大学医学部臨床教授、日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医）
- 徳毛宏則（診療部長、消化器内科主任部長、昭和 55 年卒、広島大学医学部臨床教授、日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本老年医学会専門医・指導医、PEG 在宅医療研究会認定教育者）
- 小松弘尚（内視鏡科主任部長、緩和ケア科主任部長、昭和 60 年卒、日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日

本がん治療認定医機構がん治療認定医)

- 藤本佳史 (消化器内科部長、平成 5 年卒、日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医)
- 古土井明 (内視鏡科部長、平成 5 年卒、日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医)

#### IV. 研修内容

原則、午前は週 2 回外来、2 回上部消化管内視鏡検査、1 回腹部超音波検査

<例>	月	火	水	木	金
午前	上部内視鏡	再診外来	上部内視鏡	腹部超音波	初診外来
午後	検査処置	検査処置	カンファ等	検査処置	検査処置

(注)

- 午前 9 時までに病棟患者の回診と指示だしを済ませること
- 午前の検査が早く終了した場合内科外来での新患外来の診療をする
  
- 午後の研修は基本的に、
  - 月火木金は 1 時より内視鏡室で各種検査処置
  - 水は、3 時から内視鏡室で内視鏡カンファレンス
  - 4 時 15 分より薬剤勉強会などがあります
  
- 消化器内科イブニング研修として、院外各種研究会への参加案内をします
- 月に一回、消化器内科懇話会（コメディカルを含めた勉強会）あり  
後期研修医にプレゼンテーションしてもらいます
- 毎月第 1・3・5 月曜日午後 6 時から他科合同 Cancer Board があります

#### V. 施設認定状況（当科関連分）

- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・ 日本内科学会認定内科専門医教育関連病院
- ・ 日本内科学会認定内科専門医制度研修医指導
- ・ 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・ 日本消化器病学会認定施設

- ・ 日本老年医学会認定施設

## VI. 診療実績

消化器内科病床：65 床

検査処置件数：別表

平成20年度 内視鏡科 検査処置件数			
内視鏡検査/処置名	件数	超音波検査/処置名	件数
上部消化管内視鏡検査 (GIS)	3862	腹部超音波検査 (診療)	1913
上部消化管内視鏡的ポリペクトミー	3	腹部超音波検査 (人間ドック)	1703
胃内視鏡的粘膜切除術 (EMR)	7	<b>腹部超音波検査合計</b>	<b>3616</b>
胃内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	52	エコーガイド肝生検	66
上部消化管内視鏡的止血術	72	ラジオ波凝固療法 (RFA)	31
内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP)	36	経皮エタノール局注療法 (PEIT)	2
内視鏡的逆行性胆道ドレナージ (ERBD)	81	経皮経肝胆嚢ドレナージ (PTGBD)	27
内視鏡的十二指腸乳頭括約筋切開 (EST)	78	経皮経肝胆管ドレナージ (PTCD)	4
食道狭窄拡張術	17	肝膿瘍ドレナージ	5
内視鏡的食道静脈瘤硬化術 (EIS)	7	肝嚢胞穿刺	4
内視鏡的食道静脈瘤結紮術 (EVL)	34	<b>腹部超音波処置合計</b>	<b>139</b>
経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG)	105	<b>腹部超音波検査処置総計</b>	<b>3755</b>
上部消化管異物除去	13		
緊急内視鏡的止血	50		
食道ステント留置術	4		
上部消化管アルゴンプラズマ凝固 (APC)	5		
<b>上部消化管検査処置合計</b>	<b>4426</b>		
下部消化管内視鏡検査 (CS)	1299		
大腸内視鏡的ポリペクトミー	202		
大腸内視鏡的粘膜切除術 (EMR)	233		
<b>下部消化管検査処置合計</b>	<b>1734</b>		
<b>内視鏡検査処置総計</b>	<b>6160</b>		

## VII. 学会発表・論文発表 (後期研修医関連分)

	2008	2009
< 学会発表 >		
日本消化器病学会総会	1	0
日本消化器病学会中国支部例会	4	3
日本消化器内視鏡学会中国地方会	2	0
その他学会研究会発表	4	1
< 論文発表 >		
日本消化器病学会雑誌	0	1

## VIII. 処遇等

勤務時間：8時30分～17時

当直回数：2～3回/月

休日直回数：1回/月

休日： 土・日・祝日、盆休（8月15日）、年末年始（12月30日～1月3日）

有給休暇，リフレッシュ休暇（6日），冠婚葬祭 等あり

身分： 病院スタッフ医師

給与： 卒後3年・・・基本給 292900円 医師手当 50000円

卒後4年・・・基本給 303550円 医師手当 50000円

卒後5年・・・基本給 314200円 医師手当 50000円

その他 各種手当あり

賞与： 年2回（4.5ヶ月），6月・12月 <平成21年度実績>

宿舎： 病院より提供あり

学会出張支援：国内出張他費用年間12万円支給、海外出張・論文費用の支援あり